

令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（明和地区）

日 時	2025/9/30 19:00～
場 所	旧明和小学校体育館
出席者	56名 市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員
進 行	19:00～19:03 市長あいさつ 19:03～19:04 出席者紹介 19:04～19:34 市政の概要について（市長説明） 19:34～20:27 意見交換 20:27～20:30 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p>■人口減少対策について</p> <p>P1人口減少対策は重要である。P19のグラフでは25年後人口半減予測とのことだが、人口が減少したとしても幸せに暮らせる地域をつくるのが大切だと思う。そのための戦略について、教えていただきたい。</p>	<p>■企画政策部長</p> <p>「幸せ」は人それぞれ価値観により違うが、人口が減少して、今までできていたことが出来なくなると幸福度は下がると思われる。例えば交通。不便になると幸せではなくなる。今までの生活よりも不便になると幸福度が下がるので、人口が減少しても不便にならないような地域をつくることを、総合戦略で検討してまいりたい。</p>
2	<p>■地域での生活について</p> <p>私たちがいるのはへき地。20年後には80代になる。買い物、病院に行くためには車が必要。また、人口が減ると税収も減ると思う。1軒しかない離れたところにも水は送らないといけない。そこで、例えば高齢者だけでも、氷見の中でまとまった住宅を用意する等、市の方で考えていくべきではないか。地域が廃れるのはとても寂しい。何とか獅子舞を在所の活力とて頑張っている一方で、人口が減るのは仕方のないことも思っている。</p>	<p>■企画政策部長</p> <p>中心部に人を集めていくことは効率的な考え方ではあるが、一方で今の地域に住み続けたいという人も多い。人口が減少しても、一人当たりの生産性を高めていくことで税収は維持できるといった考え方もあるので、総合戦略で検討してまいりたい。</p> <p>■市長</p> <p>人口減少下では苦難も多いが、まずは地域の文化を守っていききたい。そのために、行政事務の効率化など、あらゆる手を尽くしていきながら、技術の進歩も活用し、なるべく地域の中で生活の満足感が落ちないように取り組んでまいりたい。</p>
3	<p>■若い女性の定着率について</p> <p>若い女性の定着率が悪いことについて、原因は色々あると思うが、やはり働き場所がないのではないか。具体的に大きな企業とか、女性の雇用が生まれるような誘致、働きかけを行っているのか。</p>	<p>■産業振興部長</p> <p>4月に日本ゼオンから氷見工場の増設が発表されている。前の林市長のトップセールスの賜物だと思う。IT系、事務系といった職種についても、ディベロッパーに情報収集するなど誘致活動を行っている。企業誘致については継続的に取り組んでいるのでご理解いただきたい。</p> <p>■市長</p> <p>しっかりと取り組んでまいりたい。</p>
4	<p>■能登半島周遊鉄道について</p> <p>本日集まっている市の管理職で女性が少ないのは残念。能登半島全体で人口が減少している中で、能登半島周遊鉄道として、のと鉄道と氷見線がつながる構想はまったくないのか。</p>	<p>■企画政策部長</p> <p>過去にはそういった計画があったが、現在のところはない。</p> <p>■市長</p> <p>のと鉄道と氷見線がつながる、そういった観点も含めて、検討してまいりたい。</p>
5	<p>■県境のトンネルについて</p> <p>神子原から谷屋をトンネルでつなぐということだが、地質調査も行われているが、現在はどのような状況か。</p>	<p>■建設部長</p> <p>県境部分については国の直轄事業となり、その部分はトンネルとなる。地質調査の結果を踏まえ、最適なルートを国で検討する。県境とバイパスの未着手区間についても、富山県、石川県両県で事業化すると聞いており、国県に対して早期の整備促進を要望している。</p>

6	<p>■店が無いことについて この地区に店がないと孫がよく言う。何を買いに行くにも大野までいかなければならない。近くで買い物ができないとこの地域に住む人達も減っていくと感じる。</p>	<p>■市長 道がついて便利になれば往来が活性化し利便性が高まると思う。まずは一日も早くつながるように働きかけてまいりたい。</p>
7	<p>■415号線について 415号関係で国が入ってきたのは、令和6年能登半島地震を受けてのことか。2007年の能登半島地震から17年で地震が起こった。新しいバイパスも二桁年かかると思われる。また地震が起こる場合を想定し、現在の国道を拡幅改良するという考えはないのか。</p>	<p>■建設部長 国の事業としては防災の観点から重要な位置づけと認識されている。一般的に、バイパスが決定した場合、既存道路は維持管理の延長となるので、拡幅は難しいと思われる。</p>
8	<p>■メガソーラーについて 宇波地区、加納地区でも営農型で行われているとのことだが、太陽光発電にはメリットもデメリットもあると思う。今後、氷見市としてはメガソーラー設置に積極的に取り組むのか。ここは山だらけなので、太陽光発電が設置されて地区がもっと活性化できればいいと思う。</p>	<p>■市民部長 現在、氷見市は経済産業省や環境省の予算を使いながら積極的に取り組んでいるが、この計画の中では、国等の予算をほぼ使い切っている状況にある。今後どうしていくかは検討が必要だが、氷見市はゼロカーボンに向けて取り組んでおり、家庭のエコキュートや太陽光発電普及にも力を入れるような流れにある。</p> <p>■市長 長期的に考えながら行う必要があるので、バランスを取りながら検討してまいりたい。</p>